

# 【河川】「阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 第5回 幹事会」開催

## 1. 概要

- 阿武隈川上流で発生しうる大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国が連携して、減災のための取組を共有し、取組を推進するため10月22日に「阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会 第5回 幹事会」を開催しました。
- 各市町村の水防担当者へ阿武隈川及び荒川に設置する危機管理型水位計の設置状況・スケジュールやデータの閲覧方法を説明しました。また、来年度に阿武隈川改修100周年を迎えるにあたり、今年度にプレイベントとして実施を予定している「平成10年災害から20年」の座談会・パネル展の開催の方向を確認しました。

## 2. 日時／実施状況

- ▶日時：平成30年10月22日（月）
- ▶場所：福島河川国道事務所 3階 大会議室
- ▶出席者：福島市、二本松市、郡山市、須賀川市、伊達市、本宮市、国見町、桑折町、大玉村、玉川村、福島地方気象台、福島県（土木部・危機管理部）、三春ダム、摺上川ダム、福島河川国道事務所 関係機関約30名が参加

### 議事内容

- ・(1)危機管理型水位計について
- ・(2)阿武隈川改修100周年事業プレイベントについて
- ・(3)その他(意見交換)

## 3. 主な発言内容

- 【危機管理型水位計について】**
  - ・県管理区間においても水位計の設置に向けて取り組んでいるところ。（福島県）
  - ・危機管理型水位計のデータは直轄・県管理区間が同時に「川の水位情報」で掲載されるため、活用・周知していただきたい。（福島河川国道事務所）
- 【阿武隈川改修100周年事業プレイベントについて】**
  - ・座談会は公開を予定しており、マスコミの方にも是非来て頂きたいと考えている。開催地区の市町村にはご協力をお願いしたい。（福島河川国道事務所）
- 【その他】**
  - ・西日本豪雨被災地への災害支援で派遣された職員の経験を、洪水ハザードマップの住民説明会の場で地域の皆さまに紹介する取り組みを実施している。（福島市）
  - ・ハザードマップの周知ため、総合防災訓練の場で小学生・保護者・地区住民を対象にした「ハザードマップで自分の家を見つけよう」という取り組みを実施。自宅周辺の危険箇所を確認し、危機感の共有を図った。（郡山市）
  - ・避難情報等の参考として各種「危険度分布」情報を活用いただきたい。（気象台）



【写真1】協議会全体の様子



【写真2】川の水位情報の操作説明



福島市担当者



郡山市担当者



福島地方気象台担当者

【写真3】意見交換の様子